

**令和元年度**

**スクールソーシャルワーカー活用事業**

**－実践事例集－**

令和2年10月

北海道教育委員会

## 発刊に当たって

近年、いじめや不登校、暴力行為などに加え、児童虐待や子どもの貧困など、学校だけでは解決が困難な課題が多く発生しています。こうした課題の解決を図るため、課題を抱える児童生徒の置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整等を担うスクールソーシャルワーカーの役割は一層重要となっています。

こうしたことから、北海道教育委員会では、「スクールソーシャルワーカー活用事業」を実施しており、平成30年4月に、「スクールソーシャルワーカー（SSW）ガイドライン」を策定しました。

スクールソーシャルワーカーを活用している市町村においては、関係機関等との連携を図り、不登校児童生徒の学校復帰やネグレクト等の児童虐待、貧困の問題などの家庭環境の問題等への解決に向けて組織的な対応が図られています。

道教委では、こうした本事業において取り組まれた実践の中から、効果的な取組事例等を取りまとめました。

各市町村教育委員会においては、児童生徒を取り巻く様々な課題の解決に向けた取組の一助として本冊子を御利用いただきたく、学校と関係機関等をつなぐ仕組みづくりが一層進められるよう御期待申し上げます。

令和2年10月

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

伊藤伸一

**目次**

**第1章 解説**

- スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業…………… 1
- スクールソーシャルワーカー（SSW）の役割…………… 2
- スーパービジョン体制の確立…………… 3
- SSWを活用した効果的な実践に向けて…………… 4

**第2章 実践事例**

**<主に不登校が関係するケース>**

- 1 (小①) スクールカウンセラーとの連携した支援により、学校生活への不安な解消されたケース… 5
- 2 (小②) 新学年からの不登校傾向に組織的に対応し不登校を防いだケース…………… 7
- 3 (小③) SSWが学校、医療機関、特別支援教育相談員と連携して生活改善を図ったケース…………… 9
- 4 (小④) 関係機関が連携し引きこもりの改善を図ったケース…………… 11
- 5 (小⑤) 保護者の協力が得られない不登校児童が学校に復帰したケース…………… 13
- 6 (中①) 長期不登校生徒に対して、直接支援を中心に対応しているケース…………… 15
- 7 (中②) 不登校生徒の家庭環境と非行行動の改善に取り組んだケース…………… 17
- 8 (中③) 適応指導教室と学校との連携で保護者の信頼を回復したケース…………… 19
- 9 (中④) 関係機関が連携し引きこもりの改善を図ったケース…………… 21
- 10 (中⑤) 本人及び保護者と関わる中で不登校の解消に取り組んだケース…………… 23
- 11 (中⑥) 引きこもりの状態から登校できるようになったケース…………… 25
- 12 (中⑦) 地域の資源を活用し、不登校生徒の登校への意欲を高めたケース…………… 27
- 13 (中⑧) 関係機関との連携により、不登校の解決に向けた支援を行ったケース…………… 29
- 14 (中⑨) 環境改善を行い、適応指導教室への登校ができるようになったケース…………… 31
- 15 (中⑩) SSWが学校と家庭を繋ぐことにより不登校の改善を図ったケース…………… 33
- 16 (中⑪) 学校と不登校生徒を抱える家庭との関係改善に向けた支援を行ったケース…………… 35

**<主に中退が関係するケース>**

- 17 (高①) 不登校傾向の生徒の家庭とクラスを支援したケース…………… 37
- 18 (高②) 欠席しがちな生徒の養育環境の改善を図ったケース…………… 39

**<主に発達障がいに関係するケース>**

- 19 (小⑥) 発達障がいに関係している不登校の改善を図ったケース…………… 41
- 20 (小⑦) 学校と関係機関が連携して発達障がいのある不登校児童を支援したケース…………… 43
- 21 (中⑫) 生徒のコミュニケーション能力を育てるために、家庭に働き掛けたケース…………… 45
- 22 (中⑬) 特性のある不登校生徒を抱える家庭との関係構築を図ったケース…………… 47

**<主に養育環境が関係するケース>**

- 23 (小⑧) 子育て支援課と学校とをつなぎ学校での効果的な指導にいかしたケース…………… 49
- 24 (小⑨) 問題の解決に向けて学校・保護者・関係機関をつなげながら支援したケース…………… 51
- 25 (小⑩) 養育に不安を抱える両親にSSWが支援を行ったケース…………… 53
- 26 (小⑪) 保護者の養育を支援することにより、児童が落ち着いた生活を送れるようになったケース 55
- 27 (小中①) 養育に課題がある家庭に対し、子どもにアプローチをして支援を進めたケース…………… 57
- 28 (中⑭) 家庭環境の悪化が不登校に拍車をかけた生徒を支援したケース…………… 59
- 29 (中⑮) 情緒が不安定な生徒に関係機関と連携し働き掛けたケース…………… 61
- 30 (中⑯) 学校不適応と母子関係の修復を目指したケース…………… 63
- 31 (中⑰) 学校と関係機関が連携して養育環境を改善し生徒を支援したケース…………… 65

**<主に児童虐待が関係するケース>**

- 32 (小⑫) 虐待及び夫婦間のDVに対して継続的に支援したケース…………… 67
- 33 (小⑬) 学校や児童相談所と連携して母親にネグレクトの反省を促したケース…………… 69
- 34 (小⑭) 家庭環境の改善を必要とする児童の支援を進めたケース…………… 71
- 35 (小⑮) ネグレクト傾向と精神的に不安定な母親をもつ児童の養育環境の支援をしたケース…………… 73
- 36 (中⑱) 「子どもの安全・安心」を優先して生活環境の改善を図ったケース…………… 75
- 37 (高③) 虐待を受けた生徒へ支援したケース…………… 77

**<主に貧困の問題が関係するケース>**

- 38 (小⑯) 生活困窮世帯の不登校児童が多様な学びの環境を得て前へ進んだケース…………… 79
- 39 (中⑲) 家庭における生活困難及び発達上の課題を抱える児童生徒に支援したケース…………… 81
- 40 (高④) 学校生活上の問題はないが困窮が疑われる家庭へ支援したケース…………… 83
- 41 (高⑤) 多子世帯の生徒へ支援したケース…………… 85